

社会、地理歴史、公民における教育のイメージ（たたき台）

平成28年4月27日
教育課程部会社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ 資料9

【高等学校】

地理歴史科

- ◇広い視野に立って、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養うために、社会的な見方や考え方を培い、以下の三つの資質・能力を育成する。
- 日本及び世界の歴史の展開と生活・文化の地域的特色に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 地理や歴史に関わる諸事象について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うようにする。
- 地理や歴史に関わる事象について課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めるようにする。

公民科

- ◇広い視野に立って、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養うために、社会的な見方や考え方を培い、以下の三つの資質・能力を育成する。
- 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済等に関わる諸課題に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現代の諸課題について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、構想したりする力、合意形成を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うようにする。
- 人間と社会の在り方に関わる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人間としての在り方生き方についての自覚、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深めるようにする。

【中学校】社会科

- ◇広い視野に立って、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者を目指す公民的な資質・能力を養うために、社会的な見方や考え方を培い、以下の三つの資質・能力を育成する。
- 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題について構想したりする力、考察・構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うようにする。
- 社会的事象について、課題を意欲的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めるようにする。
- 主体的に社会の形成に参画しようとして、資料から読み取った情報を基にして社会的事象について考察し表現したりするなどの課題解決的な学習の充実を図る。
- ◎地理的分野では、地理的技能の育成を一層重視するとともに、持続可能な社会づくりの観点から様々な課題を考察させ、歴史的分野では、グローバル化に対応する観点から世界の歴史の扱いを充実させ、公民的分野については、社会参画への手掛かりを得させるために身に付けた概念を現実の社会的事象と関連付けて理解させる指導の充実を図る。

【小学校】社会科(第3～6学年)

- ◇グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者を目指す公民的な資質・能力を養うために、社会的事象の見方や考え方を培い、以下の三つの資質・能力を育成する。
- 地域や我が国の地理的環境、社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化、それらと人々の生活との関連について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 社会的事象の特色や意味などについて多角的に考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、思考・判断したことを表現する力を養うようにする。
- 社会的事象について、課題を意欲的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察や理解を通して涵養される地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土や歴史に対する愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さの自覚を養うようにする。
- 社会的事象から学習問題を見出し、問題解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、追究結果を振り返るなど、問題解決的な学習の充実を図る。
- ◎世界の国々との関わりや我が国の政治の働きへの関心を高める学習、社会に見られる課題を把握して、社会の発展を考える学習の充実を図る。災害における地方公共団体の働き、地域の人々の工夫や努力、地理的・歴史的観点を踏まえた災害に関する理解、防災情報に基づく適切な行動の在り方等に関する指導の充実を図る。

【小学校】生活科(第1, 2学年)

- 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などとの関わりに関心をもち、地域のよさに気付き、愛着を持つことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。
- 身近な人々、社会及び自然との関わりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようにする。
- 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。

幼児教育

- よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりの大切さが分かり守るようになる。
- 情報を伝え合ったり、情報に基づき思い合わせたりするようになるとともに、公共の施設を大切にしたり、国旗や国際理解への意識等が芽生えるようになる。
- 身近な事象に好奇心や探究心を持って思いを巡らしながら積極的に関わり、物の性質や仕組み等に気付いたり、予想したり、工夫したりなどして多様な関わりを楽しむようになる。